

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年2月13日・第111号—

### ★本日12時から「市民要求実現アクション」★

今日10時から、川崎市議会が始まります。

これに呼応して、いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会は、12時から「市民要求実現アクション」を市役所前で実施します。

自分たちの切実な要求を、市役所職員に、市議会議員に、市長に、通行人に訴えます。どなたでも参加できます。

川崎市役所前に集まりましょう！

### <目次>

#### ●2024年予算を審議する川崎市議会始まる

#### ■小児医療費助成制度の改善、拡充について川崎市と懇談

#### ▲お知らせコーナー

☆2/13 市議会開会日・市民要求実現アクション

☆2/13 川崎臨海部の脱炭素を考えるフォーラム

☆2/17 おしどりマコ・ケントークライブ

☆2/20 映画「雪道」川崎実行委員会結成試写会

☆2/23 映画「荒野に希望の灯をともし」上映

☆2/24 ゆめシネマ30「ハマのドン」

☆2/24 川崎市民平和のつどい「はだしのゲン」講談・神田香織

☆3/10 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

#### ★編集後記

#### ●2024年予算を審議する川崎市議会始まる

2024年第1回川崎市議会定例会が、2月13日(火)から3月18日(月)まで開かれます。この市議会は、川崎市の新年度(2024年度)予算案が審議されます。

### <予算案では、120億円の収支不足？>

2024年度一般会計当初 予算は8,712億円。

市税収入は、前年度比43億円増の3,854億円で3年連続と過去最大、財政力指数は政令市トッ

プです。

しかし、予算案については「厳しい財政」と位置づけ、収支フレームで、120億円の収支不足を見込んでいます。

その理由として「歳出面では、物価高騰や施設整備スケジュール変更への対応、歳入面では、ふるさと納税による減収の拡大や、新たに生じた行政需要に対する国財政措置が十分でない。」ことを上げています。

しかし、2021年度予算では120億円の収支不足としたが、決算では60億円の黒字。

2022年度予算では239億円の収支不足としたが、決算では19億円の黒字になりました。

毎年、過大な収支不足を計上し、決算では黒字にしており、収支フレームの破綻は明らかになっています。

### <新聞各紙は、予算案をどう報じたか。>

2月7日の新聞各紙は、地方版のトップで川崎市予算案を報じています。

見出しを見てみます。

- ・子育て・福祉に重点、将来を見据え地固め(神奈川新聞)
- ・川崎市、100年事業に注力(読売新聞)
- ・教育や脱炭素化に重点(日経新聞)
- ・安心のふるさと、力強い産業都市づくり、世界と戦える都市をつくる(産経新聞)
- ・50年、100年見据え産業創出(東京新聞)
- ・100年先の産業を(朝日新聞)

「子育て、福祉に重点」「教育、脱炭素化に重点」とは、記者会見での市長の言葉をもとにした見出しだと思いますが、その中身にふさわしいのか、はなはだ疑問です。

### <予算案は、市民の要求にどう応えたか。>

市民要求の実現度から、いくつかを読み込んでみます。

- ・500近い自治体が開始している学校給食費の無料化については、調査にも踏み込まず。
- ・122人を超える教職員の欠員、未配置(昨年12月発表)の解消については、言及なし。
- ・239自治体が実施(2024年1月調べ)している補聴器購入補助については、言及なし。
- ・介護度5の希望者が待望している特別養護老人ホームは、既存施設の老朽化への大規模修繕はするが、新設は記載なし。
- ・県内33自治体最低レベルに小児医療費助成制度は、18歳までの拡充や一部負担金の廃止を実施せず、現状維持。

などなど、市民の声を聞き、それに沿った予算方針をたてる姿勢にはなっていません。

ほとんど、ため息がでるような予算案ではありますが、2月13日からの市議会の中で、市民の代表である市議会議員が、市民の要求をしっかりと受けとめ、川崎市の姿勢を変える論戦を期待しましょう。

市民からも、積極的に、議会傍聴や請願・陳情の提出、議員との懇談を進めていきましょう。

川崎民主市政をつくる会事務局長 市古博一

## ■小児医療費助成制度の改善、拡充について川崎市と懇談

川崎市社会保障推進協議会は、1月19日、かわさきゆめホールで川崎市と「小児医療費助成制度についての懇談」をZOOM方式で開催しました。

会場には、新婦人会員や神奈川土建のお母さん達10人が参加しました。

この懇談は、1月10日に開催した「川崎市との懇談会」で、小児医療費助成制度担当者が参加できなかったため、改めて開催日を決めて、開催したものです。

参加者からは、川崎市担当者に対し、次々と質問や意見が出ました。一部を紹介します。

「去年の12月に、神奈川県はこれまで他市よりも低く抑えていた政令市への対象の補助金を、小児医療費助成など6事業について、他の市町村と同じ水準に引き上げ、2024年度予算案に関連費用を計上する方針ですが、川崎市は、この補助金の取り扱いはどのようにしているのでしょうか。」

「少子化と言われながら、川崎市は、近隣の他都市の世帯に比べて子育て世帯の流出が多くなっています。転出理由は子どもに対する施策が、今まで住んでいた所や他地域と比べても乏しいから、と言われていています。医療費助成の拡充が必要です。」

「医療費の窓口一部負担金をなくすためには、市の財政支出が、3億円(2%)で解消できるとの試算があります。川崎市の財政力を見ても、他の自治体にできて、川崎市にできないとは思えません。」

「住む地域に関わりなく、18歳まで子どもたちが安心して医療費助成が受けられるように、小学4年生からの最高500円の一部負担金を撤廃して、18歳までの小児医療費無料化をぜひ実施してください」と、切実な要望が続きました。

これに対し、川崎市の担当者は、話を聞いてくれたものの、前向きな回答は、得られませんでした。

神奈川県内でも、18歳までの小児医療費無料化もほとんどの市町村が実施しています。  
中学3年までの自治体は、6自治体になりました。

川崎市の他は、横浜市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、湯河原町です。  
このうち、一部負担金があるところは川崎市だけです。33自治体で最低ランクになっているのです。

子育て世代の流出を止めるには、他都市と同じような施策が必要です。  
さらに、子育て世代に必要なのは、学校給食の無料化や、未配置になって足りない教師の補充が必要です。

これからも、川崎市社会保障推進協議会は、子育てに必要な要求を掲げて取り組んでいきます。

川崎市社会保障推進協議会事務局長 光野正洋

## ▲お知らせコーナー

### ☆ 川崎臨海部の脱炭素を考えるフォーラム

2/13(火)14時~16時

ステーションコンファレンス川崎 Room D

定員 160人 会場 80人・オンライン 80人

主催 川崎市地球温暖化防止活動

推進センター 044-813-1313

申込方法 下記申込フォームより

[会場参加](#)

[オンライン参加](#)

### ☆おしどりマコ・ケン トークライブ

「13年目のフクシマ」

2/17(土)10時~12時

川崎市総合自治会館大会議室

定員 126名 予約優先

問合せ・予約 090-5415-0552(高橋)

主催:「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会

後援:脱原発かわさき市民、原発ゼロへのカウントダウン in かわさき・地域から平和を考える会・

まったくの会

[詳しくはこちら](#)

### ☆巨大物流倉庫を考える住民集会

2/18(日)14時より

荻宿小学校特別室

### ☆2023年度地球市民講座

映画「荒野に希望の灯をともし」上映

講演 中村医師を支えた看護師 藤田千代子さん

3月23日(土)開演 12:50 国際交流センター

先着200名 参加費 1000円

申し込み 044-4355-7000

主催 かわさき国際交流民間団体協議会 後援 川崎市

### ☆ゆめシネマ「ハマのドン」

2/24(土)①9時 ②11時半 ③14時

会場:かわさきゆめホール

一般:1000円

障がい者:500円

学生以下:200円

無連絡:+500円

申込み:044-433-3003(かわさきゆめホール)

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

[詳細はこちら](#)

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

### ☆川崎市民平和のつどい

「はだしのゲン」講談 講談師 神田香織さん

2月24日(土)1時開会 3時終了予定

川崎市総合会館(南武線武蔵小杉駅下車5分)

入場無料

申し込み 044-433-9100(川崎教職員会館)

## ☆第13回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会

3/10(日)

11時開場

12時文化行事

13時集会

ゲスト:海渡雄一(脱原発弁護団共同代表)

鴨下美和(福島からの避難者)

14時半 デモ出発(小杉駅まで)

## ★編集後記

家族と沖縄に行ってきました。

キャンプシュワブゲート前テントは、搬入車両がない日なのか誰も居ませんでした。気持ちだけ座り込みに参加。

大浦湾の反対岸には、[2019年大浦湾がホープスポットに指定された](#)ことを示す大きな看板が。

ホープスポットとは、世界的に重要な海を「ホープスポット」希望の海として登録し、積極的に保護しようとアメリカの海洋学者が立ち上げたNGO団体が始めた活動です。

マングローブもあり、非常に豊かな生態系を持つ大浦湾。大浦湾には世界の北限のジュゴンが生息していました。

また2007年には北半球最大級といわれるアオサンゴ群落が発見されました。

しかし、基地建設工事が始まってからジュゴンの生息は確認されておらず、珊瑚も破壊され続けています。

アメリカの世界戦略の拠点という役割を任せられている沖縄のアメリカ基地。

日本の平和にとって、世界の自然環境にとって、百害あって一利無しです。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

[https://my922p.com/User/cancel\\_mail/fMwwpqj4/zWi19jQSfGhL?mail=talosxxx%40gmail.com](https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/zWi19jQSfGhL?mail=talosxxx%40gmail.com)

誤って登録解除した場合、以下より再度登録をお願いします。

<https://my922p.com/p/r/fMwwpqj4>